

平成24年度 はままつ夢基金 団体支援補助事業・団体登録申請 応募団体比較表

No	申請者(団体名)	代表者	所在地	会員数	主な活動分野	自己PR	主な活動実績	団体の目的	現在特に力を入れている事業	寄附募集方法	募集期間	対象	目標寄附額	寄附金の用途
1	特定非営利活動法人浜松緑のカーテン応援団	理事長 渡邊 修一	中区上島	10人	環境	節電はこれからの日本の社会的課題です。夏の太陽エネルギーを遮るに、最も効率的な方法が緑のカーテンです。しかし密度がある緑のカーテンを仕上げるのにはそれなりの技術と経験が必要です。緑のカーテン設置事業と啓発事業を通して、確実に節電効果がある緑化事業を進めています。	(23年度) ・浜松市政100周年事業100夢プロジェクト受託 ・全国緑のカーテンフォーラムin浜松に協力 (24年度) ・南区及び東区の地域力向上事業受託 ・しずぎんふるさと環境保全基金を受給し、小学校や幼稚園に緑のカーテンを設置 ・緑のカーテン講習会活動の実施	全ての市民に対して、持続可能な社会を形成するため、緑化活動や子育て支援活動を通して、地球温暖化や少子高齢化によって引き起こされる問題を改善する事業をおこない、共に住みやすい心豊かな社会の形成に寄与することを目的とする。	緑のカーテン設置事業	HP、ブログ、講習会で寄附の呼びかけをおこなう。 一口3万円以上の寄附をいただいた場合は、緑のカーテン設置のプランターに企業名又は個人名を表示。	団体登録決定後～平成25年11月31日まで	一般市民 企業	30,000	緑のカーテン設置に要する経費
2	特定非営利活動法人浜松結婚フォーラム市民支援センター	代表理事 影山 雄三	中区山下町	10人	その他(まちづくり、男女共同参画、社会教育、情報化社会の発展)	晩婚・非婚化からくる少子高齢化によって生ずる将来への大きな不安を少しでも解消するためにNPO法人として安心・安全かつ各個人の状況、個性に合わせた結婚への取り組みを支援しています。	平尾賢弘先生による結婚と恋愛セミナー(年間12回)、結婚の為のその他セミナー、勉強会(年間15回)、婚活支援イベント(年間6回、直近では24年11月4日婚活男女の為にBBQ&芋煮会in浜北森林公園開催)カウンセリング、無料相談会はほぼ毎週末	結婚環境に関する幅広い分野での調査・分析を基に未婚の男女に対して結婚に対する教育、交流、相談などの事業を行い、結婚を取り巻く環境向上の促進を図るとともに、浜松の活気ある元気な町づくり推進に寄与することを目的とする。	カウンセリング事業、セミナー事業、引き合わせ事業、なるべくお金をかけない婚活支援イベント事業	勉強会、セミナーで寄附の呼びかけを行う。 HPを通じて寄附の呼びかけを実施。 企業への営業	平成25年1月～平成26年3月	一般市民 企業 NPO法人	150,000	セミナー会場費、イベント運営費等(年6回開催)
3	特定非営利活動法人静岡県成年後見サポートセンター	理事長 杉原 壽夫	中区板屋町	75人	福祉	当法人には、幅広く多方面に能力を有する方が会員として参加しております(弁護士、司法書士、税理士、行政書士、社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー、社会福祉士、精神福祉士、ケアマネージャー、看護師、ヘルパー、福祉施設の経営者、企業経営者、一般市民等)。この方たちの能力を活用し、成年後見制度を普及させ、後見人を養成することが出来ます。更に、市民の相談に対して的確に対応できます。	1.内閣府 三遠南信地域社会雇用創造事業、浜松市中区補助金に基づく講座、御前崎市認知症サポーター養成講座 2.各種団体への成年後見制度普及講演(御前崎市社会福祉協議会、天竜区ケアマネージャー会員、浜松宅建協会会員対象) 3.後見制度利用無料相談会開催(浜松信用金庫)	高齢者、障害者等(以下「高齢者等」という。)が自らの意思に基づいた日常生活が過ごせるよう、権利の擁護と財産の管理等について支援することにより高齢者等の福祉の増進に寄与することを目的とする。	1.成年後見制度普及事業(市民後見人養成講座開設) 2.各種団体への成年後見制度説明会開催 3.成年後見制度相談会の(相談所)開催	静岡新聞社・静岡放送企画事業局企画センターへ当法人の資料を送付済み 具体的に、企業様向けのセミナーを開催する。 企業戦略としてのCSR活動の必要性、その中のNPOとの協働のあり方を示すことで企業の責任意識を少しでも変えることを目的とし、寄附金を頂けるようにする。	登録決定後～平成25年7月31日	企業様向け NPO 一般市民 商工会議所 に対して セミナーが 開催された のちに 実施	500,000	この地域に無料後見相談会を開催する。この運営して行く資金として使用する。
4	特定非営利活動法人訪問理美容サービスベル	理事長 鈴井 基文	中区富塚町	12人	福祉	外出困難者に対して訪問理美容サービスを行っています。もし大震災が起こったら、自ら避難できる方は避難所へ避難できませんけど、高齢者や障害者、その家族などはどうするのだろうかと思惑する日々が続いていました。東北震災の話をしている方からうかがっているうちに、高齢者向けの備蓄品の必要性と、外出困難者への支援の方法など早急に検討、実施しないといけないという思いが強くなりました。	12年4月 外出困難者に対する訪問理美容開始 12年7月 理容師・美容師に対するセミナー開催 12年9月 高齢者タッチケアの講習会開催 12年11月 老人施設でのボランティア活動 ・兵庫県三田市のNPO法人との災害連携作業・企業への備蓄品の嘆願活動	地域の要介護者等や介護の必要な高齢者、障害のある人達、社会的引きこもりに対して介護福祉の訪問理美容にすることにより日々の生活の質を向上させるとともに、訪問理美容の技術の向上のための講習会・セミナー開催事業や、次世代の訪問理美容師の育成事業を行い、地域福祉の向上に寄与する事を目的とする。	その他、この法人目的を達成するために必要な事業で、災害支援に関する事業	企業訪問やインターネットでの募集	平成25年1月～平成25年12月	企業 個人	200,000	備蓄品の購入、嘆願する企業への訪問交通費、個人情報管理費、備蓄品の管理費
5	特定非営利活動法人子ども環境劇団PAF	理事長 松尾 交子	東区丸塚町	24人	子どもの健全育成	子ども環境劇団PAFは「環境」と「町おこし」をテーマに子どもの健全育成を目的として活動している子ども劇団です。当劇団の前身となった劇団は、子どもたちの方から「演劇で環境のことを伝えたい!」との思いで結成された劇団であり、子どもたち自身で未来のことである環境について学ぶことは意義のあることと思っております。またコミュニケーション能力の低下が叫ばれている昨今、当劇団での活動を経た子どもたちの中には、「授業で発表ができるようになった」、「引込み思案がなくなった」、「友達が多くなった」、「大きな声が出せるようになった」、「リーダーになった」など、表現能力の向上によりコミュニケーション能力が向上した子ども大勢います。自己の表現能力を高めることでコミュニケーション能力が上がり、より活き活きとした生活を送れるようになることを目標としております。	(直近2か年度分を記載) 2011年8月～2012年11月 食育ミュージカル「まごはやさしい」市内各所にて上演(家康楽市・いなさ人形劇まつり・五島公民館まつり等) 2012年3月 浜松中ロータリー共催 賛歌公演「We are Future」参加	子どもたちに対して、舞台芸術と環境教育に関する事業を行い、子どもたち自らが創作発表をし、発信していくことで、地域を活性化し、子どもたちにとって、幸せな明るい未来を創造することに寄与することを目的とする。	食育ミュージカル「まごはやさしい」の創作、公演	イベント開催時に資料を配布する。 Web上にて呼びかける。	登録決定後～平成26年3月31日(イベント開催時等)	企業 一般市民	100,000	音響費(レコーディング代等)

平成24年度 はままつ夢基金 団体支援補助事業・団体登録申請 応募団体比較表

No	申請者(団体名)	代表者	所在地	会員数	主な活動分野	自己PR	主な活動実績	団体の目的	現在特に力を入れている事業	寄附募集方法	募集期間	対象	目標寄附額	寄附金の用途
6	まちなか防犯協議会	会長 齋藤 正	中区鍛冶町	23人	その他(中心市街地における防犯活動)	安全・安心なまちづくりを目指し、地元自治会・商店界を中心に、毎週金・土の夜、まちなか防犯センターでの見守り活動を行っている。 全国的にも珍しい取り組みである。最近ではボランティアも参加するようになった。防犯センターの設置により、安心して街を歩くことができるようになったなどの声が寄せられている。	平成23年6月24日から、毎週金・土曜日の夜に、防犯センターでの見守り活動を実施し、来訪者同士のトラブル発生による110番・119番通報、来訪者の道案内などを行った。	安全で安心な中心市街地を目指し、有楽街等の中心市街地における防犯活動等を行い、もって中心市街地の発展に寄与することを目的とする。	防犯センターでの見守り活動	防犯センターに寄附募集のチラシをおく。 中心市街地の自治会へ回覧する。	平成25年1月10日～平成25年9月30日	一般市民 民間企業	300,000	年末年始警備委託費、防犯マップ作成、活動広報誌作成
7	特定非営利活動法人みんなのおしごと	理事長 柴田 一雄	西区入野町	11人	子どもの健全育成	私達NPO法人は、バルーンアート教室等の生涯学習イベントを中心に季節に応じたイベントを開催し、多世代交流を深め、地域社会全体で子育てを行う社会を目指し、皆が将来への夢を抱ける社会作りを目標としています。	民間学童保育の設置 多世代交流イベントの開催	仕事に関わる過去の世代が有してきた知識、経験、努力、精神性などを、すべての世代が享受できるような生涯学習に関する事業を行い、職業に関する教育事業を通じて、皆が将来への夢を持つ事が出来る社会作りを寄与することを目的とする。	民間学童保育	定期的なイベント開催時に、寄附の呼びかけを行う。	平成25年1月1日～平成25年12月31日まで(イベント開催時に実施)	イベント参加のNPO法人 企業 一般市民	100,000	民間学童保育事業の維持、管理費
8	特定非営利活動法人浜松外国人子ども教育支援協会	理事長 須藤 京子	中区広沢	90人	子どもの健全育成	外国人の子どもたちへの教育支援を始めて20年経過した。 日本語や教科学習及び母国語の指導法や教材等を創意工夫してきた。 バイリンガルスタッフを含め、指導者たちが多文化共生の環境の中で協力し、子どもたちへのよりよい支援を実施してきた。	(直近2か年度分を記載) 2011年4月 日本語指導テキスト「はまっこ改訂版」発行 2011年、2012年4月 浜松市より「通級型日本語・母国語教室等業務」を受託(プロポーザル方式による)	外国人の子どもたちを対象に、日本語教育支援及び母国語教育支援を中心とした事業を行い、その活動を基に将来を担う子どもたちの育成に努め、誰もが暮らしやすい共生社会の実現に寄与することを目的とする。	日本語で授業に参加できる力を養うため、日本語の基礎力及び教科学力を習得する教室を開催。 母語を使用し母国について学ぶ母国語教室を開催。その保護者たちへの教育啓発。 上記の事業を通し、親子共に自立して生きていく力を身につけること。	チャリティ まつっこ教室(母国語教室)発表会開催準備段階及び当日に寄附のお願いをする。	平成25年1月15日～平成26年3月31日	チャリティ発表会参加の外国人保護者及び関係者 主旨に賛同の企業、一般市民、NPO団体	150,000	親子教室開催の運営費
9	特定非営利活動法人浜松NPOネットワークセンター	代表理事 井ノ上 美津恵	中区佐鳴台	134人	その他(NPO支援・多様な人々の社会参加促進)	「こうなったらいいな…」という市民の夢や思いは、共通の志を抱く人々と出会うことによって社会的な力に育ちます。 「エヌポケット」に飛び込んだ思いは、事業に形を変えて動き出す！ 「誰をも排除しない社会づくり」のための小さな市民の「熱い思い」を集め、「つなぎ・しらべ・しらせ・ささえ・そだてる」ことによって社会的な大きな力に変えていくしくみづくりを始めようとして設立した団体です。	(直近2か年度分を記載) (2011年) ・浜松市内NPO300団体近くを訪問調査。それをもとに「浜松市民の力きらきらフォーラム」を開催。調査結果をもとにウェブサイト「はままつ市民の力きらきらBOX」を作成提供中。 (2012年～) ・障害のある人の雇用を希望する事業所にアドバイザーを派遣(静岡県)	新しい市民社会の実現に寄与することを理念とし、浜松市及びその周辺地域における民間非営利組織の分野や地域を越えた活動基盤の強化と、それらと企業及び地方公共団体等とのパートナーシップの確立を図り、もって不特定かつ多数のもの利益の増進に寄与することを目的とする。	・NPO法人会計基準の活用促進の啓発活動 ・さまざまな社会資源の在り処とその内容を多くの人々に伝える活動 ・外国人学校現状調査と多文化な子どもたちのための進路支援 ・障害のある人の就労を促進させる活動(企業によるジョブコーチ新規活用) ・ICTによる社会参加促進活動	・チャリティプラットフォームのサイトの当センターページを利用する ・当センターが開催する各種イベントで寄附の呼びかけをする ・当センターのホームページやブログ、ツイッターで寄附の呼びかけをする	登録日～平成26年3月31日	イベント参加のNPO、企業、一般市民	200,000	ザザシティ中央館4階に移設予定の障害のある人のためにICT支援センターを利用して活動する諸団体支援のため、隣接する有料の会議室を拠点化できる環境づくりを行う ・日管所有の会議室利用料の補助 自分のウェブサイトのバリアフリー度チェックを希望する人や団体を募集し、障害のある人たちにチェックしてもらおう活動を行う。 ・障害のある人が直接チェック。そのための作業賃金
10	特定非営利活動法人浜松日本語・日本文化研究会	理事長 加藤 庸子	中区曳馬	70人	その他(社会教育)	・地域で日本語教室を開設してから11年半が経ちました。日本語教師の資格を持っている者、ボランティア養成講座を修了し経験を積んできた者が、外国人の皆さんの日本語学習を意欲的に支援しています。 ・外国につながる子どもたちへの支援には、日本語教師や学習塾で教えていた者、ボランティア養成講座の修了生等が、子どもたちのニーズに合わせて、日本語や教科を工夫しながら教えています。	(直近2か年度分を記載) 2010年4月～現在 ・浜松市教育委員会の委託による「派遣型日本語教室(東教室)」での小中学校支援 2012年10月～2013年3月 ・浜松市の委託による「外国人子ども学習サポートボランティア養成講座」の開催 2005年～現在 ・「日本語スピーチコンテスト」を年1回開催 2002年～現在 ・「年末交流パーティー」を年1回開催	日本語を学ぶ外国人一人ひとりのニーズに応えることにより、また日本文化・外国文化の研究を通して、日本人と外国人との相互理解による多文化共生社会の実現に寄与することを目的とする。	・外国住民への日本語学習支援 ・外国人及び外国にルーツを持つ子どもたちへの学習支援 ・外国人子ども学習支援ボランティア養成	個別訪問により、会の活動内容を説明し、ご理解いただく。	平成24年12月～平成26年3月(機会を捉えて随時)	企業 市民団体 一般市民	500,000	小中学校での授業中及び放課後における日本語や教科の学習支援活動及び地域における外国人のための日本語学習支援などに関わる活動

平成24年度 はままつ夢基金 団体支援補助事業・団体登録申請 応募団体比較表

No	申請者(団体名)	代表者	所在地	会員数	主な活動分野	自己PR	主な活動実績	団体の目的	現在特に力を入れている事業	寄附募集方法	募集期間	対象	目標寄附額	寄附金の用途
11	特定非営利活動法人浜松ソフト産業協会	理事長 秋山 雅弘	中区板屋町	38人	その他(情報化社会の発展、経済活動の活性化)	コンピューター、スマートフォン、インターネット、ソフトウェア(ICT技術)を活用して、多くの企業に儲けていただいたり、市民の方楽しんでいただける様に取り組みしております。そして、当地域に多くの雇用を産み出されることはもちろんのこと、技術者が楽しめる街・浜松と言われるよう精進いたします。今後とも、浜松ソフト産業協会をよろしくお願いたします。	・浜松地域における観光産業変革の取組(総務省絆プロジェクト) ・次世代ビジネスモデルを支える技術者養成の取組(スマートフォンアプリ講座等) ・天才的な地域産業牽引リーダー養成の取組(浜松市協働、ITキッズPJ)	浜松地域の法人、団体や個人に対して、地域の情報化の推進に関する事業を行い、地域経済の発展と地域の活性化に寄与することを目的とする。	地域産業(観光業、飲食サービス業)向けデジタルサイネージ事業	会員等への呼びかけ(口コミ)	登録決定後～平成25年12月31日	一般市民	200,000	デジタルサイネージ事業に係る広報PR活動費、関係従事者に対する人材育成費
12	特定非営利活動法人市民農業の会	理事長 小楠 一	南区堤町	41人	その他(農業支援)	増える遊休農地を市民農業に利用して、農業の活性化に取組んでいる。つまり、非農家市民に農業を呼掛け、市民が希望するいろいろな農業ができる様支援を行う。市民の希望は、体験農業から市民農園や家庭菜園、本格的な定年・兼業農業と専業農業まで、大変幅が広い。支援は、農地の確保・農機具の提供・栽培指導や農産物の販売まで、全てにわたる。	1.市民農業の実績・・・南区での活動、利用面積は4.3ha(13,000坪) 体験農業:親子の団体・幼稚園・小学生などに植付けと収穫体験を。 市民農園:(4ヶ所で122区画を運営:1区画40㎡)多くの市民が野菜づくりを楽しんでいる。・・・ 共に5年以上実施している。 定年・兼業農業者:10人以上の市民が、各々1反(300坪)程度の面積で、地元の農作物を栽培。・・・小農家に近い農業に取り組む中。 専業農業:若者数人が生活のための千坪以上の農業にチャレンジ中。 農産物の直売所3ヶ所を運営・・・地産地消で皆さんに喜ばれている。・・・は、1～3年間、実施している。 2.農業フォーラム・市民農業祭の開催:市民への広報と市民の参加・関心を呼ぶ場。・・・市の助成を得て、3年間毎年実施している。	非農家市民に呼び掛けて、農業参入を支援する事業を行い、地域農業の振興及びまちづくりに寄与することを目的とする。	・市民農業の推進と対象地域の拡大(南区の西部・中部・東部、他区へ) ・市民農業を推進するための体制とシキミづくり ・行政や農協等の関係機関との協働事業化を目指す	企業を巡回訪問し、寄附をお願いする。 第4回市民農業祭・市民農業フォーラム開催時に、寄附の呼びかけを行う。 当団体のホームページ上にて呼びかけを行う。	平成25年1月10日～平成26年3月24日)	地元の企業、市民農業フォーラム・市民農業祭参加の企業・団体・一般市民	500,000	当団体の主体事業である「遊休農地を使って、非農家市民による農業を推進する事業」に使用したい。(営農拠点整備費、農業フォーラムと市民農業祭の開催を含む)
13	特定非営利活動法人こころねっと浜松	理事長 池谷 貴子	西区大平台	29人	子どもの健全育成	子育て中の親たちからの声から生まれた活動です。 「親と親」「子どもと子ども」「親子と地域」「親と社会」を結びつけ、親も子ども地域も、ともに成長していけるような街を作りたいと考えています。	・子育てサロン『こころルーム』・『多胎児家庭支援事業』 ・出張託児グループ『親子サポートこころ』・『かえっこバザール』 ・親子遊び塾『もこもこ』・『子育て支援ボランティア養成講座』他	"この街に生まれてよかった""ここで子育てができてよかった" 浜松がそんな街になるように、子育て・子育てを応援します。	親向けプログラムの提供 ・NP(ノーバディースパーフェクト) ・BP(ベビープログラム) ・CSP(コモンセンスペアレンティング)	当法人ホームページやフェイスブックにて告知。 寄附の呼びかけを行う。	平成25年1月～平成26年3月	活動に関心を寄せたい企業・一般市民	200,000	講座開催時の会場代、受講生との通信費、講師料・資料代